

作成日 2026 年 6 月 15 日
(最終更新日 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2026-1-356

課題名 :

75 歳以上における乳がん検診の必要性 : 過剰診断および治療進歩を加味した解析

1. 研究の対象

2015-2020 年に NCD 乳癌登録データに登録された 75 歳以上の乳がん患者。

2. 研究期間

研究期間 : 2026年7月 (研究実施許可日) ~2029年3月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2026 年 8 月 10 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

高齢化の進展に伴い、高齢者に対する乳がん検診のあり方が重要な課題となっています。乳がん検診は乳がん死亡率の低下を目的として実施されていますが、高齢者では生涯にわたり症状を呈さない乳がんが発見される「過剰診断」の可能性も指摘されており、検診継続の適切な年齢については十分な科学的根拠が得られていません。

また、高齢者に対する乳がん検診の推奨については国際的にも統一した見解が示されていません。

本研究では、National Clinical Database (NCD) のデータを用いて、高齢者における乳がん検診受診と死亡リスクとの関連を検証し、高齢者に対する乳がん検診の有効性および適切な検診継続について評価することを目的とします。

本研究の結果は、高齢者本人や医療従事者が乳がん検診に関する意思決定を行う際の科学的根拠となることが期待されます。

5. 研究方法

本研究は、National Clinical Database (NCD) 乳癌登録に登録された情報を用いて行う後ろ向き観察研究です。

2015 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までに NCD 乳癌登録に登録された 75 歳以上の原発性乳がん患者さんを対象とし、年齢、診断契機、病期、腫瘍の特徴、治療内容、生存状況などの既存情報を用いて解析を行います。

乳がんが検診で発見された患者さんと、それ以外の契機で発見された患者さんを比較し、生命予後や乳がんによる死亡との関連を検討します。また、年齢ごとの特徴や治療内容を考慮しながら、高齢者における乳がん検診の有効性について評価します。

なお、本研究で使用する情報は NCD に登録された既存データのみであり、新たに検査や調査をお願いすることはありません。解析は NCD において実施され、研究者が受領するデータには個人を特定できる情報は含まれません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、診断契機、病期、腫瘍の特徴、治療内容、生存状況などの既存情報等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

- ・ 東北大学病院 乳腺・内分泌外科
助教（研究代表者）：佐藤 馨
- ・ 一般社団法人 日本乳癌学会
理事長（研究責任者）：石田 孝宣
- ・ 一般社団法人 National Clinical Database
代表理事（研究責任者）：池田 徳彦

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費のうち解析費は、一般社団法人 日本乳癌学会の参加分担金より捻出されます。その他の研究費は、運営交付金を使用します。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

本研究では、National Clinical Database (NCD) において、あらかじめ個人が特定できないように加工された匿名加工情報を使用します。匿名加工情報には氏名や生年月日など

の個人を識別できる情報が含まれておらず、どの医療機関においても患者さんを特定することはできません。

このため、患者さんご自身の情報が研究に利用されることを個別に拒否することはできません。

当院における問い合わせ先：

佐藤 馨（さとう かおる） 職名 助教
東北大学病院 乳腺・内分泌外科

〒980-8574

住所 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7214

FAX：022-717-7217

E-mail：kaoru.sato.a3@tohoku.ac.jp

当院の研究責任者：

佐藤 馨（さとう かおる） 職名 助教
東北大学病院 乳腺・内分泌外科

〒980-8574

住所 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL：022-717-7214 FAX：022-717-7217

E-mail：kaoru.sato.a3@tohoku.ac.jp

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「[配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ](#)」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1) 以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合

③法令に違反することとなる場合